

Culture of 鷹巢

第4号



めんどりよあみぶし 免鳥夜網節

みなさんは免鳥夜網節をご存知でしょうか？

今回は鷹巢の伝統文化の1つである、免鳥夜網節について紹介します。

免鳥夜網節は、免鳥町に伝わる民謡です。ゆったりとした三味線や太鼓などの伴奏に合わせ、編み笠に浴衣姿の住民が踊ります。元々は、漁師の網引き歌であり、奈良時代から伝承されています。地引き網漁は衰退しましたが、先人が残した夜網節を受け継ごうと、地元住民による、「免鳥夜網節永久保存会」が稽古に励み、コロナ禍前は夏祭りなどで披露していました。また、鷹巢小中学校の体育大会では保存会の指導のもと全校で踊っていました。



免鳥夜網節は、1270年前(西暦750年頃)に始まりました。「色のくろいは浦浜育ち…声の高は波の音…」で始まる歌にも詠まれる免鳥夜網節は、三里浜の南方の砂浜で、地引き網が盛んに行われていた頃、歌われていました。

毎年、鯛、鯖、鰯等が押し寄せてくるので、大きな木造船二隻を操り村人総出で海の幸を手に入れ、生計を立てていました。ある時、大人数で網をひいても、ひいても、揚がりませんでした。困り果てた村人は糸崎寺に行き禅海上人に、これらを伝えました。そのとき、神から、「何人も背を海に向けず、腰引き具を使い、後ろ下がりに網をひくべし」というお告げがありました。しかし、村人はあまりの重さと、疲労も重なり眠気に襲われていました。すると、誰となく悠美な声かけが始まりました。このかけ声が、免鳥夜網節の発祥となったのです。



鷹巢の雪景色

鷹巢にも雪が積もることはまれにありますが、大体すぐに溶けてしまいます。また、雪が降っているときに窓の外を見ると、白い雪がパラパラと降っていてとても綺麗です。

雪で有名な北海道のようにたくさん降ったり、積もったりしませんが、山や砂浜に少しでも積もるといつもなら見られない景色を見ることができるので、新鮮です。

また、他県の雪と比べると水を含んでいて歩きづらい、固まりやすいので、雪だるまやすべり台のような物を作り、そりを使って滑ることができます。

鷹巢荘

皆様は鷹巢荘をご存じでしょうか。

鷹巢漁港を見下ろすことができる高台にあり、くつろぐことができる温泉宿です。鷹巢荘の一番の魅力は、海の近くにあるということです。海を眺めながら、疲れた体を鷹巢荘で休めてはいかがでしょうか。

また、鷹巢荘にはおいしい料理も沢山あります。例えば、越前コースがあります。越前コースは、地元の食材をふんだんに使った、福井の旬を感じることができる季節替わりの人気コースです。ぜひ鷹巢荘に来てみてください。